

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間発達学		(作) 必修 (福.人) 選択	2	(作) 2 (福.人) 1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡辺 俊太郎	C318	shuntaro.watanabe	水曜日 13:00~14:30		
授業の目的・概要	対象者により良い生活を提供するために、人間の発達過程を理解することは必要不可欠である。本科目では人間の発達といった視点から心身の構造や機能を把握する事を目的とする。人間を発達の視点で捉えることで、各ライフステージにおける発達のつながりや課題を理解する事が出来る。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	各ライフステージの発達を関連付けて理解できるように事前事後学習を丁寧に行うこと。				
教科書	コメディカルのための専門基礎分野テキスト人間発達学 改訂5版 /編:福田恵美子 /中外医学社 /2019				
参考書	指定なし				
外部教材	ヒトの心はどのように生まれ、進化してきたか? 東京大学 長谷川寿一 東大 TV を授業開始前に視聴して本科目に臨むこと。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人間発達の概念を説明できる			HSU(1)~(3) OT(2)(3)、社、精、心	
②	ライフステージごとの身体機能の発達、認知機能の発達をマイルストーンで説明できる			HSU(1)~(3) OT(2)(3)、社、精、心	
③	ライフステージにおける身体機能と認知機能を関連付けて、マイルストーンで説明できる			HSU(1)~(3) OT(2)(3)、社、精、心	
④	ライフステージにおける身体機能・認知機能と日常生活活動の関連性を説明できる			HSU(1)~(3) OT(2)(3)、社、精、心	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 人間発達の概略について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P2-7 を読み、人間発達の概略を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
2	発達概念の歴史の変遷について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P8-27 を読み、発達概念の変遷を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
3	発達理論について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P13-26 を読み、発達理論を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
4	胎芽・胎児期、新生児期の発達過程と課題について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P28-39 を読み、新生児期までの発達過程について理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
5	乳児期の発達過程と課題について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P40-54 を読み、乳児期の発達過程を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
6	幼児期(前期)の発達過程と課題について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P55-62 を読み、幼児期(前期)の発達過程を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
7	幼児期(後期)の発達過程と課題について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P62-67 を読み、幼児期(後期)の発達過程を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
8	学童期(前期・後期)の発達過程と課題について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P68-86 を読み、学童期の発達過程を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
9	青年期(中学生・高校生・大学生・社会人)の発達過程と課題について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P87-102 を読み、青年期の発達過程について理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
10	成人期(前期・中期・後期)の発達過程と課題について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P103-122 を読み、成人期の発達過程について理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	
11	高齢期(前期・後期)の発達過程と課題について学ぶ。	同時双方向型 授業	事前に教科書 P123-150 を読み、高齢期の発達過程について理解する。事後に配布プリントを復習する。	4	

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

12	原始反射、姿勢反射・反応、姿勢調整・移動運動について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書 P152-181 を読み、原始反射や姿勢反応について理解する。事後に配布プリントを復習する。	4
13	視覚・眼球運動、ハンドスキルについて学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書 P182-200 を読み、視覚やハンドスキルについて理解する。事後に配布プリントを復習する。	4
14	聴覚・言語の機能と発達、心理・社会的(対人関係)機能について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書 P201-227 を読み、言語機能、心理・社会的機能の発達過程を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4
15	生涯発達に関する各種検査について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書 P230-280 を読み、発達検査の概要を理解する。事後に配布プリントを復習する。	4
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	10	70
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。ライフステージにおける発達過程と課題、ライフステージ間の関連性について問う。(50%)			試験問題および解答用紙の返却	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各ライフステージにおける知識や理論の習熟度を測るために、授業時間内に小テストを実施する。授業で得た知識に対して、思考・創造・推論、表現する力、課題に取り組む姿勢・意欲、問題を発見・解決する力を評価の対象とする。(30%:10回実施)			授業内で得た知識の臨床での応用方法について授業内で情報共有する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	作業療法士として 15 年以上の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。						
そ の 他	双方向型授業：Microsoft Teams を使用して行う。授業時には課題ダウンロードや動画視聴等があるため、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更の可能性がある。						